

だいせんの偉人先人たち

おち あい とう てい
落 合 東 堤

【 分 類 】 がくもん 学問

【 生没年 】 1749年 ~ 1841年

(かんえん 寛延2年) (てんぼう 天保12年)



えどじだいちゅうき 江戸時代中期から こうき 後期にかけて活躍した じゅがくしゃ 儒学者。 くぼたほん 久保田藩の ほんこうめいとくかん 藩校明德館の教授として招かれたこともあったが、これをことわり、「しゅぜつてい 守拙亭」と称する しじゅく 私塾を かくまがわ 故郷角間川にひらいて しぞく 士族・しょみん 庶民の別なく儒学を講じた。学識・人格ともに かわみなと 優れ、川港として繁栄する角間川地域の風紀肅正につとめ、壮年以降に修得した かくまがわせいじん 医術によって、貧富の別なく地域医療にあたったため「かくまがわせいじん 角間川聖人」とよばれ、士民から慕われた。

出典 社会科副読本わたしたちの大仙市